

ISAN の概要

メモリーテック株式会社 知財管理室 吉野徹

ISAN (International Standard Audiovisual Number), or ISO: 15706-1 & 15706-2 (the ISAN standard), とは、映画・テレビ番組などの視聴覚作品に付与される 96 ビットのユニークな番号である。世界中の映画やテレビ番組等の視聴覚作品を一元的に特定するために考えられた、国際規格に基づいた番号体系であり、ある作品についての番号が変わることや、同じ番号が別の作品に再利用されることはない。

この国際規格は、著作者・制作者・メディア企業・著作権団体・放送標準化組織などのフィードバックを受けつつ、7年以上の期間をかけてISOのワーキンググループで議論され、2002年に基本部分であるISO 15706-1が公表された。2004年にweb上にISANのシステムが公開され、6月にはデータベースの運用が開始された。2006年には、視聴覚作品の各種バージョンに対する枝番を定義するISO 15706-2も公表され、これらに基づいてISANシステムが運用されている。

ISAN-IA (ISAN International Agency) は、この規格を運用するために2003年にAGICOA、CISAC、FIAPFにより設立された組織で、その中央データベース (ISAN Central Depository) には、各視聴覚作品のISANが、作品名・監督名・出演者名・制作年度などのメタデータと共に格納されている。ただし、ISANは、視聴覚作品を特定することのみを目的としているため、ISANのデータベースには、著作権についての権利・許諾情報を記録する項目は用意されていない。

国際機関であるISAN-IAのもとには、国や地域を代表する地域登録機関 (Registration Agency) が設立される。この地域登録機関は、自国語でホームページを立ち上げて、そこを通して中央データベースを操作するようにもできるし、あるいは、自らのデータベースを運営して、中央データベースとの連動・連携を行うようにすることもできる。作品を制作した者、あるいは、作品を利用しようとする者は、これら地域登録機関のうちのひとつを選んで契約し、ISANのデータベースにアクセスして、その作品のためにISANを取得することができる。(有料) また、契約していない者でも、ISANのホームページで、作品名とISAN番号の対応を確認することはできる。

現在、19の団体が地域登録機関として活動している。地域登録機関が立ち上がっていない地域においては、ISAN-IAが直接運営する臨時登録機関 (Transitory Registration Agency) を通じて、ISANの取得を行う。表●に活動中の地域登録機関を示す。

表●: 活動中の地域登録機関

(国)	(機関名)
フランス	Agence Française ISAN
スイス	ISAN Berne
ドイツ	ISAN Deutschland
オーストラリア	ISAN Australasia
米国	Secure Path
米国	Microsoft Studios
米国	ISAN IFTA RA
スペイン	ARIBSAN
オランダ	ISAN NL
英国	ISAN UK
スウェーデン	ISAN Sverige

ポーランド	ISAN PL
ブラジル	ABRISAN
イタリア	ISAN ITALIA
カナダ	ISAN CANADA
セルビア	ISAN SERBIA
オーストリア	ISAN Österreich
ウルグアイ	ARIBSAN Latin America
イラン	ISAN IRAN
その他の地域	Transitory Registration Agency

この他に、ポルトガル・韓国・トルコにおいて準備が進んでおり、2009年中には地域登録機関は22となる見通しである。¹⁾

これらの地域登録機関を通じて、すでに、映画8万5千本、連続ドラマ33万話、ドキュメンタリー6万本、テレビ系娯楽作品4万本などを含めた多様な視聴覚作品についてISANが取得され、その総数は55万作品を超えている。また、ISANの枝番ともいえるV-ISAN (Version ISAN)の番号取得もここ一年で倍増して1万2千件となり、それらは主に、光ディスク用途に番号取得されている。²⁾

ISAN取得手続きを行う者の数も増えており、世界で8,500以上の組織がISAN取得手続きを行っている。これらは、主に製作者・放送業者・流通業者の代理人だという。

日本においては、54の組織がISAN取得手続きを行っており、すでに1306作品のISANと643件のV-ISANが取得されている。(2009年7月末現在)

世界での取得数に比べて日本での取得数が極端に少ない理由は、日本でのISAN取得の目的が、主に光ディスク(Blu-rayディスク)の出版に限られているためと考えられる。他国では、映像番組を放送した場合や、電子配信した場合における音楽著作権料の管理等にISANが利用されており、実際に、フランスで放送された日本の人気アニメ番組の多数について、フランス語でISAN登録されている例などもある。(日本の会社によってではなく、何らかの管理上の必要に迫られて、フランスで登録されたと推測される。)

1) <http://www.isan.org/>

2) “ISO 15706-1 & ISO 15706-2 Progress Report to ISO TC46 SC9”, May 2009